

さらに加速する「まちの好循環」

～ これまでの成果と今後の明石市のまちづくり ～

8年前(2011年度当初)の状況 人口減少、少子化、赤字財政、基金減少、まちの衰退...

「ふるさと明石を何とかしよう」市民のために全力をつくす

- ◆ **こどもを核としたまちづくり** すべての子どもを まちのみんなで 本気で応援
- ◆ **やさしい社会を明石から** みんなで支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- ◆ **「明石のたからもの」全国発信** 時のまち、海のまち(明石焼、B-1、たこ)

7つのV字回復 ～ 人口減少、少子化、地域の衰退を克服 ～



1. 来る人 「交流人口」明石駅前の歩行者通行量 **4割増**から **7割増に拡大**

▶ 来街者 19,650人(2015年10月) → 33,115人(2018年10月)



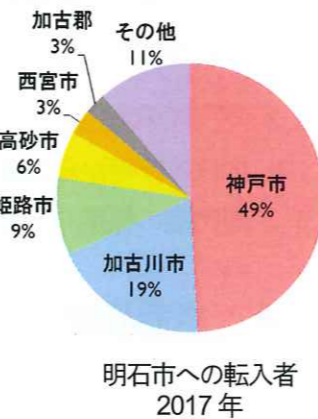
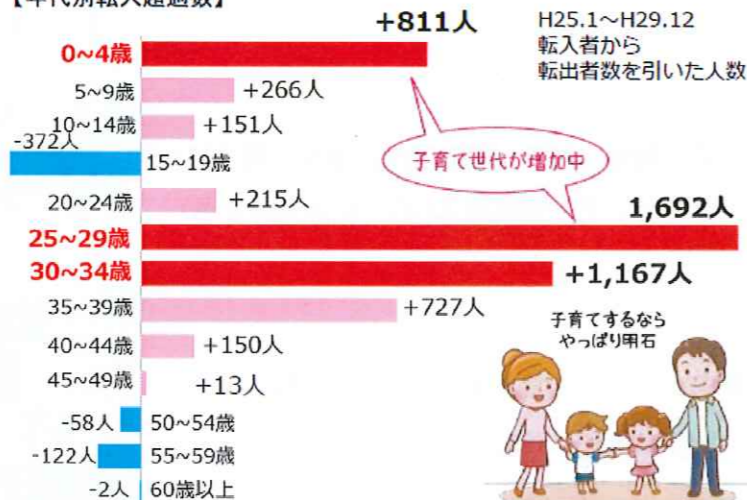
2. 住む人 「定住人口」人口減少から一転 **6年連続の増加**

▶ 総人口 290,349人(2013年4月) → 298,688人(2019年3月)

子育て世帯、中間層が増加 ～ 転入超過の9割が20～30代と0～4歳
大都市からの転入も加速 ～ 転入超過割合は関西1位、超過数は関西2位

増加割合は東京23区を上回る
人口増の特徴「子育て中間層」の拡大

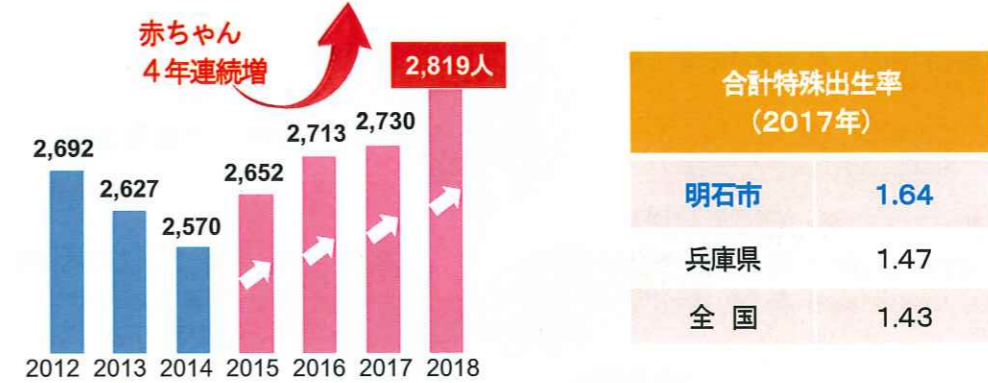
【年代別転入超過数】



教育熱心な中間層に光を当てる政策で若い世代が増加中

3. 赤ちゃん 出生数、出生率とも回復、上昇に転じ **4年連続の増加**

▶ 年間出生数 2,570人(2014年) → 2,819人(2018年)



4. 新しい家 新たな人がまちに来て、住宅需要も増加が続いている

▶ 住宅着工件数(新築戸数) **4割増加**

1,889戸(2012年度) → 2,674戸(2016年度)

5. 新しい店 中心市街地に賑いが戻り、新規出店者が大きく増加している

▶ 新規出店 年間目標値の2倍 **+200%達成**

年12店舗(2020年目標値) → 24店舗(2016年10月～2017年10月)

6. 市税収 若い層の転入が増え、主要税収入、納税者とも増加傾向

▶ 税収 5年で **+21億** *個人市民税、固定資産税、都市計画税

342億円(2012年度決算) → 363億円(2017年度決算)

7. 市の基金 1995年をピークに減少傾向が続いていたが回復、増加基調に

▶ 来年度 **12年ぶりの100億円超**へ *財政、減債、特別会計等健全化の3基金

70億円(2012年度末) → 86億円(2017年度末) **+31億(2018年JT跡地売却益)**

～ 「まちの好循環」が拡大中 ～



まちの元気

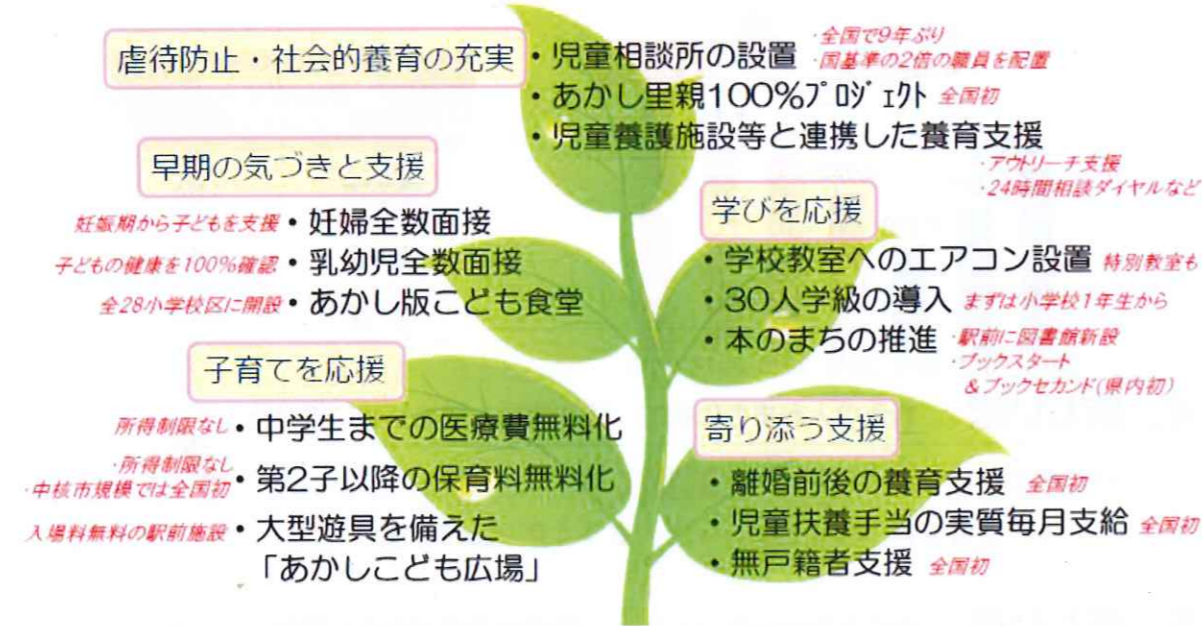
人が増え、地域経済が活性化し
未来につながる「元気なまち」に発展中!

市民の笑顔

笑顔が増え、地域活力が向上し
さらに「やさしい共生社会」へと進化中!

持続可能な自治体経営

◆ こどもを核としたまちづくり すべての子どもを まちのみんなで 本気で応援



◆ やさしい社会を明石から 誰もが安心して暮らせる地域づくり



◆ 明石のたからもの全国発信 伝統あるまちのPR



◆ 新しい時代の高齢者施策

- (1) 「認知症でも大丈夫」な地域社会へ**
個人の問題から、社会で支える発想に転換
「医療モデル」から「社会モデル」への転換
- (2) 老後不安を解消する「総合支援」**
日常の暮らしに着目した取組を展開
- (3) 元気高齢者の活動支援**
活躍場所、機会を充実し生涯活躍のまち、
みんなが支え合う地域に



～ 自治体経営・4つのポイント ～

1. 明確な政策ビジョンの共有

「こどもを核としたまちづくり」 全ての子どもを まちのみんなで 本気で応援
 「やさしい社会を明石から」 共生社会の実現に向け、インクルーシブ施策を展開

2. 時代に応じた予算のシフト

▶ **重点分野への大胆なシフト** [参考] 一般会計1, 094億円 (2018年度当初)
 子ども部門の予算額 126億円 (就任前: 2010年度当初) → **219億円** (2018年度当初)

3. 適時、適材、適所の組織編成・人員配置

▶ 総職員数を削減しながら**重点配置** [参考] 総職員数1, 910人 (2018年度当初)
 子ども部門の職員数 39人 (就任前: 2010年度当初) → **103人** (2018年10月)

▶ 年功序列でなく、**若手・女性を積極的に登用**

▶ **専門職の活用**
 中央省庁等から派遣 9名 (厚労, 法務, 防衛, 文科, 国交 電通等)
 専門職の採用 32名 (弁護士7名、福祉職23名、文化分野2名)

4. 広報戦略

- ▶ **市民理解と共感** 広報あかし (月2回) 毎号の特集、比較広報
- ▶ **まちの目標の共有** 地方創生の推進 「明石のトリプルスリー」
- ▶ **市外への広域発信** 明石の魅力を戦略的にシティセールス

